

株式会社 帰山鍍金工業

DX宣言書

2024年10月24日
株式会社 帰山鍍金工業
代表取締役社長 帰山 隆司

□ 経営理念

会社経営の根本は信用を得るところにあり 信用は誠実と努力によって生まれる
個人の力は少なり 総力を結集することにより威力を業す 全社員一致協力を望む

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用し業務効率化を向上することで、地域シェアNo.1を守ります
- ◆ 社内業務のデジタル化を一層強化し、時代の変化に対応できる柔軟な組織を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在～2025年11月)

戦略 「DX推進チームの発足と、業務フロー分析による課題の特定」

- 施策
- ・ リーダー層を中心としたDX推進チームを発足
 - ・ DXの意義や有効性について理解を深めるため、経営層とDX推進チームを対象に勉強会を実施
 - ・ 作業負担がかかっている箇所を特定するために、本社工場を対象に各部門のリーダーへヒアリングを行い、受注から出荷までの作業を工程別に洗い出すことで各部門の業務フローを作成
 - ・ 特に、生産計画を立てるために生産工程を明確にし、その作業の中で課題の洗い出しを重点的に実施
 - ・ 現場の意見を実務へ活かすため、DX推進チームが各部門の声を収集し、業務改善案を経営層へ提案
 - ・ 課題解決に向けたDX実行計画を策定

➤ フェーズ2(2025年12月～2026年12月)

戦略 「業務効率化・標準化に向けたDX実行計画の実施」

- 施策
- ・ フェーズ1で策定したDX実行計画を実施
 - ・ 社内一丸となってDX推進を行うため、全社員を対象にDXに関する基本的な知識や最新情報を学ぶ勉強会を実施
 - ・ 経験豊富な技術者のノウハウを継承するために、製造工程の動画やオンラインマニュアルを作成
 - ・ 社内に蓄積されたデータをデータベース化し、一元管理する計画を策定

➤ フェーズ3(2027年1月～2027年11月)

戦略 「社内業務の更なるデジタル化を推進」

- 施策
- ・ フェーズ2で策定した一元管理化計画を実施
 - ・ 本社工場から別工場へ、フェーズ1,2の内容を展開
 - ・ IT/情報資産の将来的な管理方法を検討
 - ・ RPA等を活用し、受注から請求書発行までの流れを自動化する計画を策定

□ DX推進体制

- ・ DX推進プロジェクトを設置し、代表取締役社長を実務執行統括責任者とします
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 受注から出荷までにかかる時間 : 2024年度比 30%削減(～2026年12月)